

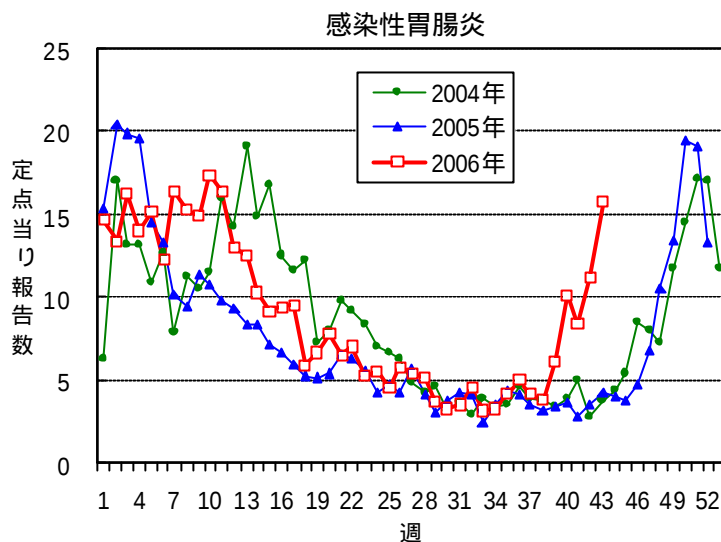
■ コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り15.8人とやや増加しています。10月下旬の時点で、例年ピークとなる12月のレベルにすでに達しており かなり多くなっています。安芸区38.0人、佐伯区23.0人と特に多く、南区19.7人、中区14.0人、東区13.7人、安佐北区12.0人、西区11.3人となっています。

2. マイコプラズマ肺炎

6人(定点当り0.86人)報告されており、例年同時期と比べて多い状態が続いています。



■ 5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	-	-	0.03		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.06		流行性耳下腺炎	4	0.17	1.29	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.79	0.87	▲	RSウイルス感染症	-	-	-	△
感染性胃腸炎	379	15.79	3.74	□	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	10	0.42	1.15	▼	流行性角結膜炎	6	0.75	1.13	
手足口病	2	0.08	0.51		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	6	0.25	0.16		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性発疹	12	0.50	0.74		マイコプラズマ肺炎	6	0.86	0.40	
百日咳	-	-	0.05		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.11						

急増減 ▲ ▼ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ▲ ▼ 前週と比較しておおむね1.15～2の増減

微増減 ▲ ▼ 前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減

横ばい □ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
(注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3)成人麻疹を除く
(注4)オウム病を除く

■ 1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	29	女性(10歳代)・市外

■ 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	広島市	第39週 第40週 第41週 第42週 第43週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎 (注3)	クラミジア肺炎	成人麻しん
報告数	広島市	第39週	-	4	37	147	10	10	10	12	1	-	-	5	-	-	10	-	-	5	-	-
		第40週	-	3	24	243	15	2	5	15	2	-	4	3	1	-	7	1	-	10	-	-
		第41週	-	2	17	200	5	3	3	14	-	-	3	6	-	-	3	-	-	5	-	-
		第42週	-	4	37	266	22	4	4	21	-	-	1	6	2	-	9	-	-	6	-	-
		第43週	-	5	19	379	10	2	6	12	-	-	-	4	-	-	6	-	-	6	-	-
定点当り	広島市	第39週	-	0.17	1.54	6.13	0.42	0.42	0.42	0.50	0.04	-	-	0.21	-	-	1.25	-	-	0.71	-	-
		第40週	-	0.13	1.00	10.13	0.63	0.08	0.21	0.63	0.08	-	0.17	0.13	0.04	-	0.88	0.14	-	1.43	-	-
		第41週	-	0.08	0.71	8.33	0.21	0.13	0.13	0.58	-	-	0.13	0.25	-	-	0.38	-	-	0.71	-	-
		第42週	-	0.17	1.54	11.08	0.92	0.17	0.17	0.88	-	-	0.04	0.25	0.08	-	1.13	-	-	0.86	-	-
		第43週	-	0.21	0.79	15.79	0.42	0.08	0.25	0.50	-	-	-	0.17	-	-	0.75	-	-	0.86	-	-
	全国	第41週	0.01	0.25	0.98	3.49	0.72	0.90	0.25	0.60	0.01	-	0.12	-	0.88	0.02	0.79	0.01	0.05	0.45	0.02	-
		第42週	0.01	0.26	1.30	4.71	0.71	0.82	0.27	0.66	0.02	-	0.12	-	1.14	0.03	0.82	0.03	0.04	0.62	0.02	-

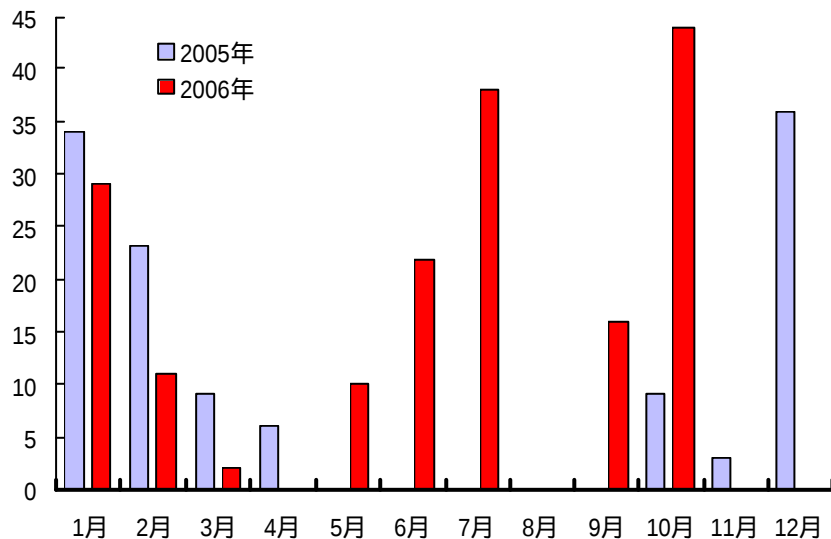
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■ 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	0	男	2006/09/22	咽頭拭い液	RS ウイルス
咽頭結膜熱(疑)	1	男	2006/08/31	咽頭拭い液	エコーウイルス9型
感染性胃腸炎	1	男	2006/09/10	糞便	ノロウイルスG2群
感染性胃腸炎	1	女	不明	糞便	ノロウイルスG2群
細菌性髄膜炎	0	男	2006/09/18	咽頭拭い液	パレコウイルス1型

【参考】広島市における月別 ノロウイルス検出状況

(2006.10.31現在)



(注)検体は、感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関から搬入された検体の他、感染性胃腸炎の集団発生等の患者から採取された検体を含んでいます。(検体採取月により集計)

ノロウイルスは、例年12月から2月にかけての冬季を中心に多く検出されます。

図に示した月別 ノロウイルス検出状況を見ると、5月から9月にかけての夏季を中心とした時期については、2005年は検出されていませんが、2006年は8月以外は検出されており、10月もかなりの数が検出されています。

ノロウイルスは、人間の腸内で増殖し、便や吐物に多量に含まれています。少量のウイルスでも感染しますので、トイレの後や食事の前は、手洗いを念入りに行うことが大切です。

また、便や吐物の処分には、樹脂製の手袋を使い、汚れた床やシートなどは、次亜塩素酸ソーダで十分に消毒する必要があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2006年第43週 (10月23日～10月29日)